ふれあい

～三輪地区ふれあい活動推進協議会だより～

第 30 号　令和２年３月発行

三輪地区ふれあい活動推進協議会
〒669-1514 川除 675 番地
（社協　三田三輪地域福祉支援室内）
電　話:559-5965　FAX:559-5945
メール:chiiki@sanda-shakyo.or.jp

三田市社会福祉大会が開催されました

令和２年１月 25 日(土)に総合福祉保健センターにて、「令和元年度　三田市社会福祉大会」が開催されました。

多目的ホールでの式典の他に、認知症 VR 体験コーナー、多くのパネル展示や、ふくしマルシェとしてさまざまな福祉活動の展示が行われました。

式典は、三田市社会福祉協議会大澤会長の挨拶、三田市森市長の祝辞から始まり、福祉功労者・社会福祉事業功労 36 名、福祉功労団体６団体の表彰が行われました。

三輪地区からは、「有馬富士区　和の会」様が福祉功労団体を代表して表彰を受けられました。

続いて記念講演として、落語家　露の団姫(つゆのまるこ)氏、太神楽曲芸師　豊来家大治朗(ほうらいやだいじろう)氏のご夫妻により、「あなたのまわりの発達障害～ともにイキイキ生きるには～」と題して講演が行われました。

まず、落語家でも僧侶でもある露の団姫氏の落語では、ご自身の略歴や死後の世界を軽妙な語りで笑わせて頂き、豊来家大治朗氏の演芸ではハラハラドキドキしながらも楽しませて頂きました。続いてご夫妻によるトークショーでは、ご自身が発達障害をお持ちのご主人と、サポートする立場の奥様として、自らの経験を面白可笑しく軽妙に話されて、笑わせてもらいながらも胸に染みる講演でした。

特に障害を「凸凹」と表現され、「凸凹（長所と短所、個性）」が環境と合わないと「障害」になるという言葉や、「区別」が不当に扱われると「差別」になるという言葉は記憶に残っています。どのような「個性」がどのような環境で「障害」となるのか、どのような「区別」がどのように扱われると「差別」となるのか、今一度具体例を考えてみたいと思います。

（広報部会長　小田）

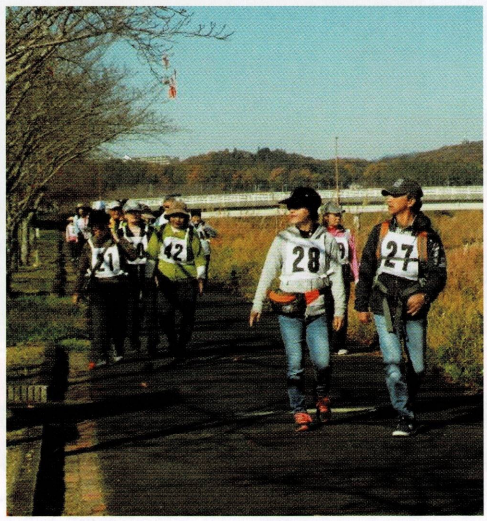
令和元年度ふれあい健康ウォーキング大会

去る11月23日(土)に毎年恒例となっております「ふれあい健康ウォーキング大会」を武庫川ウォーキングコース(4.8km)で実施いたしました。例年この時期は冷たい風が吹いて少し肌寒い感じがするのですが、当日は快晴無風の状態で、11月下旬とは思えないほどの小春日和でした。

参加者は10時に集合し、最初にふれあい活動推進協議会の古田会長より挨拶、その後ラジオ体操で体をほぐした後、役員の先導でウォーキングに順次出発いたしました。少し歩くと汗ばむほどの暖かさで、歩くうちに上着を脱いでおられる方もいらっしゃったのが例年になく印象的でした。

このように今回は、天候にも恵まれ参加者全員が最後までウォーキングを楽しまれたように思います。なお、今回は実施日が連休になっておりましたので、参加者は60人程と例年より若干少なかったのが少し残念なところです。令和2年度も11月に実施いたしますので、是非とも多数の皆様のご参加を宜しくお願い申し上げます。

(企画部会長　杉下)



三輪老人クラブ　より

令和になりまして、初めての新年会を開催しました。毎年同じになりますが、「大正琴」「藤間流の5人での踊り」等は出演者は日々練習し、年1度の発表会です。出演後は、皆さんの顔が緩み、安堵感が見えました。そして昔懐かしい、フォークダンスの歌に合わせて、踊って下さった皆さんは、大変喜んで頂きました。又　恒例になりました福引大会には、高齢とは思えない熱の入りようでした。

私達は、安心安全に暮らす為には、地域コミュニティの役割が益々重要と考えています。三輪老人クラブは、一人でも多くの方が、参加して頂く様頑張っています。

(三輪老人クラブ　小林　光男)

友が丘フラダンスサークル【花のかんむり】

令和２年２月２日　総合福祉保健センター多目的ホールで開催されました、松が丘校区の『ふれあい交流音楽会』に誘っていただき有難うございました。サークルとしては２年程のホヤホヤですが、出演させていただきました。月２回程、基本の動きを中心に練習しています。今回、短い期間でしたが、《パパリナ》や《月の夜は》を選びました。踊り慣れていない所もありましたが、笑顔で踊ろうと励まし合い、お客様のあったかい懐に依存して、踊らせていただきました。生徒が２つ、先生が１つの演目を発表しました。

沢山の人達に見ていただきました。踊る事により“華がある”、“服装も華やかで、見栄えがする”等、感想を貰い有難い体験ができました。この日の為に、サークル員の友達が高槻から、姉妹が大阪から、子どもが家族を連れて、近所の方が、と、見に来てくれて、笑顔が自然と溢れてきました。《音楽会が楽しい輪づくり》になった様な気がします。

これを機に、フラダンスサークルにも入って戴き、元気に長生きできるサークルにしていきたいです。

（友が丘自治会　フラダンスサークル　福山明子）

三輪　「おしゃべり会」

三輪の民生委員　児童委員は協力員さんと共に、第三水曜日に「おしゃべり会」を三輪会館で開催しています。７５歳以上の方なら誰でも参加して頂けます。令和２年度の催しが次のように決まりました。おおいに楽しんで下さい。

４月　囲碁ボール　　５月　ぷくぷく一座　　６月　高齢者対象防災教室　　７月　映画
８月　コミュニケーション麻雀　　９月　リカ＆ヤッシー(歌とキーボード、ギター)
１０月　津軽三味線　　１１月　干支の押絵　　１２月　ビンゴゲームと映画
１月　日本舞踊とお抹茶　　２月　コミュニケーション麻雀　ふれあいのつどい
３月　トコヤーズ(男性コーラス)

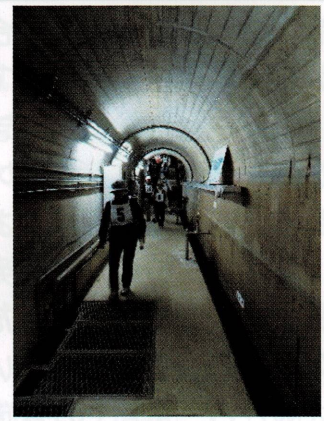
民生委員　児童委員は、みなさんのお困りごとを、公的機関におつなぎするという役割を担っております。どうぞお気軽にお声かけ下さい。

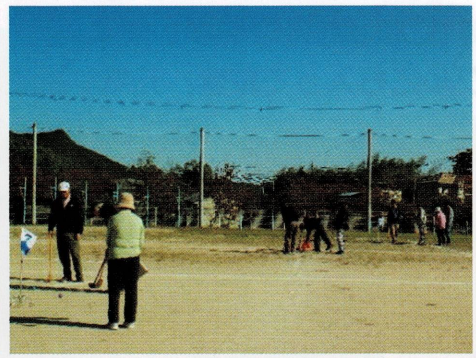
（民生委員　児童委員　中林　玲子）

志手原校区ふれあい活動推進協議会より

志手原校区ふれあい活動推進協議会では、こどもから高齢者までの多世代交流を目的に「ふれあい健康ウォーキング大会」を１０月２７日（日）青野ダム周遊コース（ダム管理棟・監査廊）で実施(参加者３５名)。また、「ふれあいグラウンドゴルフ大会」11 月9日（土）志手原小学校グラウンドで５５名(大人・こども)が参加、楽しい時間を過ごしました。

今年は、各家庭においての“もしもの時の安心カード”を作成し、全戸配布をし、活用を呼びかけました。





また、志手原校区　(９自治会)においてふれあいサロン・カフェなどを行い情報交換や安否確認をおこなっています。

(志手原校区ふれあい協
東部　貢)

令和元年度　高次区敬老祝賀会

昨年 10 月 13 日(日)　午前 10 時 30 分よりまちづくり協働センター(キッピーモール)において「高次区敬老祝賀会」が、75 歳以上の対象者 304 名の内 108 名の方々をお招きして開催されました。高次区単独での「敬老会」も３回目で、前日 21 時からの会場準備も世話役のテキパキした行動で１時間で完璧な仕上がり！

当日は天候にも恵まれ、白寿１名・米寿５名の方に表彰状が細谷区長より手渡されました。式典の後は、地元「なでしこ会」による大正琴の演奏が始まり、数日前の豪雨で長野県を襲い氾濫・決壊した【千曲川】の曲が流れると会場の誰もが心痛の想いでした。昼食は各テーブルで和気あいあいと会話が弾み、午後は篠山から漫才【まるっちーず】の女性コンビをお招きし、交通安全についてのテーマで勉強になり２人の掛け合いに大爆笑でした。最後は地元の有志と「コスモス会」の皆さんの歌と仮装と踊りで会場が盛り上がり有意義な敬老会となりました。

市からの助成金も無くなり厳しい財政の中で、高次区の役員の方々の熱意と努力に世話役にあたった一人として感謝いたします。今年も頑張って継続していきましょう。

(高次区民生委員・児童委員　小林　敏子)